



平成28年9月号  
発行:二輪草センター

# 二輪草だより

## センターの活動予定

- ◆10月25日 第25回 二輪草セミナー開催
- ◆10月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより10月号発行

## 「医学概論③ ワークライフバランスを考えよう」終了報告

二輪草副センター長 安孫子 亜津子

平成28年8月22日に、医学科3年生を対象に「ワークライフバランスを考えよう」の講義および実習を行いました。今年も夏休み明けの1日目を熱く語りあい考えてもらいました。

最初に教育センターの蒔田先生から開催のご挨拶をいただき、その後、二輪草センター菅野先生からの医師のワークライフバランスと

二輪草センターについての講義をしていただきました。先生ご自身が出産後、朝方に生活パターンを変えたことが、学生さん達には印象的であったようです。

「グループ討論」では、15グループに分かれて、4つのケースに関して、キャリアプランや、問題点、サポート方法などを議論してもらいました。どのグループも白熱した議論が展開され、討論内容は各グループの代表者から、それぞれの特色を感じる多様な意見を発表してもらいました。今回は結婚、出産、育児だけでなく、介護の問題もケースに取り入れました。将来の進路を考えるうえで、パートナー、子供、両親など、周囲の人との関係が大切であることを考えさせられたのではないかと思います。

午後のグループ発表後には、「先輩医師のワークライフ体験談」として、3人の先生からのお話を聞きました。眼科の西川先生からは、眼科医としての研修を積まれた後に、ご自身の専門分野を考える中で出産・育児を体験し、道外での研修もされキャリアアップされたお話しをお聞きました。皮膚科の大石先生は、男性医師としては貴重な育児短時間勤務を利用され、子育てに積極的に参加されています。乳児期のわが子と関われる限られた期間を大切に過ごしたいという気持ちがとても伝わってきました。産婦人科の横浜先生は、ライフと勤務先の関連や、自らが力強く育児と仕事を両立されてきた経験をお話しされ、自分に自信をもてるキャリアを着実にもつことの大切さを教えてくださいました。様々な体験談を聞き、医師という職業の素晴らしさや、ワークライフバランスを保つことの難しさなどをイメージすることができたことと思います。

最後に二輪草センター長の山本先生からスタイルチェックによるタイプ別診断を説明していただき、講義を終了しました。この講義をきっかけに、ワークライフバランスとキャリアプランの重要性を考えることのできる学生さんが増えることを期待します。

グループ討論ではたくさんの先生方にタスクフォースとしてお手伝いしていただきました。青木先生(免疫病理)、赤坂先生(臨床検査)、菅野先生(二輪草)、岸部先生(耳鼻咽喉科)、木ノ内先生(眼科)、高取先生(第2内科)、高橋先生(小児科)、高林先生(放射線科)、堀先生(皮膚科)、蒔田先生(教育センター)、松本先生(臨床研究支援)、山本先生(二輪草)、山本先生(腫瘍病理)、横浜先生(産婦人科)吉田先生(解剖)(五十音順、敬称略)、お忙しいところご協力いただきましたことを深謝いたします。



## 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



## 第25回 二輪草セミナー開催のお知らせ

日時:平成28年10月25日(火)18:00～19:00

場所:臨床第3講義室 対象:医学生・研修医・全職員

講師:及川 沙耶佳先生(京都大学大学院 医学研究科医学推進センター)

演題:『医学教育というキャリアパス』

本学卒業生の  
特別講演!!

## 「夏休みキッズスクール」終了報告

平成28年7月25・26日の二日間で第17回夏休みキッズスクールを開催し、総勢29名の子ども達が参加しました。

第一日目、最初のプログラムは学生ボランティア「ぬいぐるみ病院プロジェクト」による『救急～困った人を助けるために出来ること?!』と題する特別授業です。骨折・鼻血・熱中症になった人を助けるための応急処置の仕方を、小学生に解りやすくO×クイズや実践を通して教えて下さいました。添え木をして包帯をしたり、涼しいところへ移動して水分補給を促したり、それぞれグループごとに発表して皆で学ぶことが出来ました。終わった後は体育館へ移動して、バスケットやサッカー、縄跳びや鬼ごっこなど汗だくになって遊び、その後は美味しいお弁当を食べました。この頃には子ども達もお兄さんお姉さんとすっかり仲良しです。



午後からは救急医学講座の岡田基先生が「救命救急ってなんだろう?～命を救うために出来ること」という特別授業を行って下さいました。ビデオやスライドを見ながら、お家や学校などで倒れた人がいた時にまずどうしたらいいのか、救急車を呼んだあとにどうするのかを学びました。その後、実際にBLS講習を行い「アンパンマンマーチ」や「さんぽ」の曲に合わせて正しいリズムで心臓を押せることを教えて頂きました。子ども達も学生も楽しみながら、でも真剣に参加していました。ドクターカーの見学では、車内の様子やストレッチャーの出し入れなど、普段は見られないところをしっかりと見る事が出来ました。最後はフルーツポンチ作りです!フルーツの皮むきやカットを自分たちで行い、カップに入れてサイダーを注いで...冷たく美味しいフルーツポンチを食べて、キッズスクールの一日目は終了しました。

二日目、午前中は東川町で木工細工体験です。鈴木工房の鈴木秀一さんにエゾモモンガのカードスタンド作りを教えてくださいました。キトウシ森林公園でマツボックリを探してから、木工細工のスタートです。サンドペーパーで木を磨き、自分で探したマツボックリを取り付けてとっても可愛いカードスタンドが出来ました。高学年は糸鋸を使って木を切る体験も行い、低学年はそれを羨望の眼差しで見つめていました。午後は東光スポーツ公園で遊びました。30℃超えの晴天の中、広い公園を元気に走り回って楽しみました。みんな汗だくで真っ赤な顔になりながら大満足の笑顔でした!!最後は閉校式で校長先生から終了証をもらい、二日間のキッズスクールは終了しました。

今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。お忙しい中、16名の学生が参加して下さいました。事前の準備や後片付けを含め積極的にお手伝い頂き、子ども達と楽しく過ごして頂いた事に心から感謝致します。また、藤井智子教授をはじめ、いつも快く開催場所をお貸し下さる看護学講座の諸先生方、ご理解・ご協力を頂いております各部署の皆様にも心よりお礼申し上げます。



## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【8月20日～9月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	3回	利用回数	3回
バックアップナース	依頼回数	18回	稼働回数	18回
病児・病後児保育室	依頼回数	13回	利用回数	11回
カウンセリング相談			利用回数	7回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます